

# 補助事業計画書・成果報告書－1

計画 平成27年 4月 1日 策定

平成 年 月 日 修正

成果報告 令和 2年 5月31日 報告

担当課

産業振興課

補助金等の名称	佐倉市民花火大会交付金
---------	-------------

予算科目	一般会計	款	6	項	1	目	3
予算事業名	観光イベント事業						
実施計画の位置づけ	観光行事を充実させます						

補助金分類							
国県補助の状況	国付・県付・国直接・県直接	国県補助なし					千円
交付先	佐倉市民花火大会実行委員会						
支出根拠規定	佐倉市民花火大会交付金交付要綱						

補助の目的	佐倉市民花火大会を実施することにより、市民の心に潤いを与えるとともに憩いの場を提供しながら、市の活性化を図る。
補助の効果	市外へはイメージアップが図られ、市内にはふるさと意識の醸成を図りながら、まちの活性化を図る。
補助対象事業の具体的内容	佐倉市民花火大会の安全な実施、運営
対象経費及び補助率	佐倉市民花火大会に関わる煙火費、会場管理費、会場運営費、保険料など所要額
補助金額の根拠	市の設計金額による
備考	1/2を超えて補助、設立5年を超えて運営費補助する理由 佐倉市の代表的なイベントの一つであり、市が主体的に行うことで市外へはイメージアップにつながり、市民にはふるさと意識の醸成が図られるため。
その他	
補助期間	平成27年4月1日～令和2年3月31日

## 補助事業計画書・成果報告書－2

		担当課	産業振興課	
補助金等の名称	佐倉市民花火大会交付金			
平成27年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	19,000	有料観覧者数 8300人	19,000	有料観覧者数 9029人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	有料観覧者数については、目標値を上回ることができたが、今後花火大会を継続的に実施し、かつ自立的な運営をめざして、更なる観覧者数の増加を目指していく。			
平成28年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	19,000	有料観覧者数 9300人	18,000	有料観覧者数 9254人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	有料観覧者数については、目標値を若干下回ったが前年より増加した。今後花火大会を継続的に実施し、かつ自立的な運営をめざして、更なる観覧者数の増加を目指していく。			
平成29年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	19,000	有料観覧者数 10300人	18,000	有料観覧者数 9849人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	有料観覧者数については、目標値を若干下回ったが前年より増加した。今後とも花火大会を継続的に実施し、かつ自立的な運営をめざして、更なる観覧者数が増加していくよう取り組んでいく。			
平成30年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	19,000	有料観覧者数 11300人	18,000	有料観覧者数 11,214人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	有料観覧者数については、目標値を若干下回ったが前年より増加した。今後とも花火大会を継続的に実施し、かつ自立的な運営をめざして、更なる観覧者数が増加していくよう取り組んでいく。			
令和元年度	計画額 〔千円〕	各年度目標値	決算額 〔千円〕	各年度成果値
	19,000	有料観覧者数 12300人	18,000	有料観覧者数 11,866人
	成果達成状況の分析と今後の方策			
	有料観覧者数については、目標値を若干下回ったが前年より増加した。オリンピックや新型コロナウイルス感染症の影響は大きいですが、今後も自立的な花火大会の運営をめざして取り組んでいく。			
計画期間終了後の最終的な目標値	有料観覧者数の増加			
計画期間終了後の最終的な成果値	有料観覧車数の増加 (H27:9,029人→R1:11,388人)			